

報道各位

電子書籍発刊とトークイベントのお知らせ

電子書籍 KCIC BOOKS アーティストシリーズ 2014

松本弦人『カゴシマ トーキョー 断片』

松本弦人 + KCIC 著

2014年12月27日(土)

①電子書籍発刊

2015年1月17日(土) 15:00~17:00

②発刊記念トークイベント『松本弦人 × ナガオカケンメイ』**地域をテーマにした電子書籍を発刊、そしてトークイベントを開催！**

この度、かごしま文化情報センター（KCIC）は、KCIC BOOKS アーティストシリーズとしてメディア・プロデューサーの松本弦人氏と共同制作した電子書籍『カゴシマ トーキョー 断片』を12月27日に発刊いたします。また、それに伴い1月17日に松本氏ご本人とゲストにナガオカケンメイ氏を迎え、発刊記念トークイベントを行います。

「鹿児島—東京」、その様々な^{モチーフ}「断片」を、MemoPad—電子書籍、2つの^{メディア}ツールに綴じる。
地域、ツール、メディア。そこに現れるのは—？

KCIC 2014 年アーティストブックは、縦横無尽なメディア制作を手がける松本弦人氏と KCIC の共同制作による^{メディア}実験ツールです。KCIC を起点とした鹿児島と、松本氏の活動拠点である東京（渋谷／目黒）の、建築、施設、街、食、人など、さまざまな「断片」をそれぞれの住人が^{メディア}として選び取り、MemoPad と電子書籍に並列に綴じます。2つの地域を並べることで表出すること／使われることで成立する^{メディア}／更新可能なメディアとしての電子書籍。3つの特性を併せ持つこのツールを、異なる地域でありながら共有された空間でもある「鹿児島—東京」に置くことからこのプロジェクトは始まります。

「本」の概念を拡張し、多様な展開を試みる本企画にどうぞご協力をよろしくお願いいたします。



鹿児島市役所の断片を撮影する松本氏

概要**①電子書籍発刊：松本弦人『カゴシマ トーキョー 断片』**

日程：2014年12月27日(土) <http://bccks.jp/store/114530> で公開。

（電子書籍は閲覧無料。MemoPad は印刷費を含めて同サイトにて有料販売。）

企画制作：かごしま文化情報センター（KCIC）アートディビジョン 発行：文化薫る地域の魅力づくり実行委員会 / 鹿児島市

②発刊記念トークイベント：『カゴシマ トーキョー 断片』松本弦人×ナガオカケンメイ

日時：2015年1月17日(土) 15:00~17:00

場所：かごしま文化情報センター（KCIC）鹿児島市易居町 1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館 1F

定員：50 名（定員になり次第締め切り）対象：どなたでも 参加費：無料

申込：お電話・メール・来所にて、必要事項（名前、年齢、電話番号、住所）をお伝えください。

かごしま文化情報センター（KCIC）<http://www.kcic.jp/> TEL：099-248-8121 メール：information@kcic.jp

お問合せ：TEL：099-248-8121 またはメール：information@kcic.jp までご連絡ください。（10:00~18:00 日・水曜休所）

担当：四元、平川

600に及ぶ“地域の写真”を、電子書籍、そして MemoPad に。

今回の取組みで撮影した写真は 600 に及び、そのコンテンツを 3 つの媒体で読者の好みに合わせて選べるように提供します。まず第 1 弾は、12 月に web 上で公開する電子書籍。そして、春には、テーマごとに綴じられた MemoPad を制作予定です。地域の細部を写した「断片」が、電子書籍に加え、MemoPad となることで軽やかなコミュニケーションツールとして、各地を行き来します。あわせて、本書の発行に際し、1 月には、国内各地でのロングライフデザインをテーマに活動するデザイナー ナガオカケンメイ氏をゲストにトークイベントを開催。異なる視点を持ちながら、地域での活動を展開したナガオカ氏との対談をお楽しみいただく機会となります。



今回制作した電子書籍と MemoPad

電子書籍はスマートフォンやタブレット、PC からご覧頂けるようになります。

『カゴシマ トーキョー 断片』(松本 弦人氏 コンセプトシートより)

かごしま文化情報センター (KCIC) の 2014 年アートブックを、松本弦人と鹿児島在住の KCIC スタッフで共同作成し、「電子書籍」の形で発行します。内容は、KCIC を起点とした鹿児島、松本の事務所を起点とした東京 (渋谷／目黒) の、建築、施設、街、食、人など、様々な「対象」の細部を“断片、”として切り取り書籍に再構築します。鹿児島／東京の共通性のある「対象」が“断片、”として並ぶことで表出する、共通性、差異、断絶、などが綴じられる本になります。

「紙の本」は、「対象」ごとに綴じられた 9 冊の「MemoPad」に。

「電子書籍」は、すべての「対象」が 1 冊にまとめられ web 公開されます。

「MemoPad」とは人が人にメッセージを伝えるために使われる「ツール」です。

異なる地域の“断片、”をツール化し、それぞれの地域に配布し、実際に使われることを目的としています。

「電子書籍」も「ツール」としてのさまざまな可能性を秘めています。

今回は「誰でも自由に写真やテキストを電子書籍に追加できる機能」を使います。(追加機能は来春リリース予定) それによって、一冊の本の制作に多くの人が自由に関わることが出来るようになり、例えば、すでに公開された本に新たな「対象」を追加したり、追加取材のワークショップを開いたり、「対象者」自身が勝手に追加したり、といった「あたらしい本のつくりかた」が可能になります。

“断片、”の集合の電子書籍。電子書籍の“断片、”としての MemoPad。そして、切り離してメッセージが添えられた一枚の“断片、”。

この“断片、”の連なりは、どのように使われ、どのように流通し、どのように感じられるのでしょうか。

それを模索するが今回のプロジェクトの狙いであり、『カゴシマ トーキョー 断片』は書籍でありながらも「発行されてからもなお活動を続けるプロジェクト」の、むしろ「ツール」でもあるのです。



松本 弦人 (まつもと げんと)

グラフィック・デザイナー メディア・プロデューサー

BCCKS CCO / コンセプト設計・企画・デザイン責任者

コンピュータによるグラフィック・デザインの黎明期から積極的に先端技術を取り入れ、様々なメディアのデザインに取り組む。デジタル作品への関わり方は尋常ではなく『ポップアップコンピュータ』、『ジャングルパーク』、『動物番長』の三本において、企画・監督・デザインを務める。休刊前の『STUDIO VOICE』アート・ディレクター、プリント・オンデマンド出版『一〇〇〇文庫』発行人。東京タイプディレクターズクラブ理事
受賞歴：マルチメディアグランリ、日本ソフトウェア大賞、ADC 賞、TDC 賞、The Best Interactive Awards 他多数

<http://www.sarubrunei.com/>

●発刊記念トークイベント ゲスト プロフィール



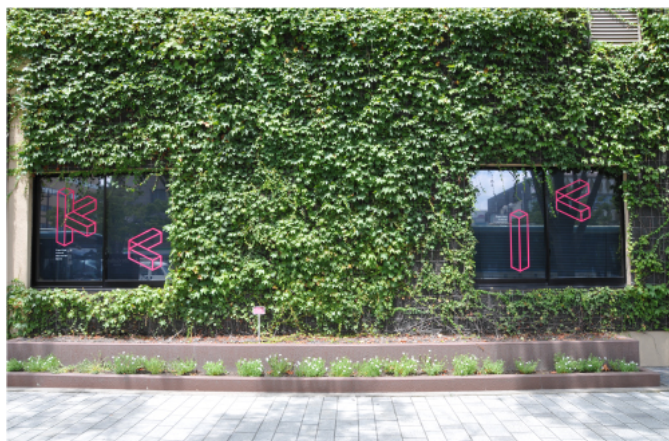
ナガオカケンメイ

デザイン活動家・京都造形芸術大学教授・武蔵野美術大学客員教授

すでに世の中に生まれたロングライフデザインから、これからのデザインの在り方を探る活動のベースとして、47の都道府県にデザインの道の駅「D&DEPARTMENT」を作り、地域と対話し、「らしさ」の整理、提案、運用をおこなっている。2009年より旅行文化誌『d design travel』を刊行。2012年より東京渋谷ヒカリエ 8にて 47 都道府県の「らしさ」を常設展示する、日本初の地域デザインミュージアム「d47 MUSEUM」を発案、運営。2013年毎日デザイン賞受賞。

www.nagaokakenmei.com

●かごしま文化情報センター (KCIC)



かごしま文化情報センター (KCIC)

〒892-0815 鹿児島県鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所 みなと大通り別館 1F

Tel. 099-248-8121 Fax. 099-248-8127

開所時間：10:00～18:00 日曜・水曜休所

<http://www.kcic.jp/>

「かごしま文化情報センター (KCIC)」は、鹿児島市の総合計画に掲げる豊かさ実感リーディングプロジェクトの1つ「“ディスカバークごしま”文化創造プロジェクト」の取組を具体化した「文化薫る地域の魅力づくりプラン」を推進する活動の拠点として設置されました。KCICでは、「美術」「音楽」「地域伝統芸能」の3つのジャンルに重点を置き、それぞれ「質の高いアートに触れること」「音楽活動の舞台、フィールドを確保すること」「本物の伝統芸能の価値の共有・発展」を目指し、活動していきます。KCICでは、国内外の多様な文化情報を集め、これまでにない視点で情報を編集して発信。また、新しい文化活動にも積極的に取り組み、地域住民、NPO、ボランティア、事業者等が、アーティストや世界中の人々と創造・表現活動を通じて関わり合いながら、新しい未来を考えていく場とします。



かごしま文化情報センター
Kagoshima Cultural Information Center